

ALPHA

PAL8045 Installation Guide

Last revised : Dec. 2001
X001ZF0T-02

Model PAL8045

For Athlon, Duron, Athlon XP, Athlon MP

PAL8045 はCPUソケット横の4箇所穴を使用してヒートシンクを取付けます。MBに依っては表面実装のパーツと干渉する場合があります。

梱包の中に次の物が同梱されているか、ご確認ください。

PARTS	QTY	MODEL	
		PAL8045 T	PAL8045 U
ヒートシンク	1	○	○
インタークカバー	1	○	○
ネジ, M3 x 50 (ファン取付用)	4	○	○
ワッシャー (ファン取付用)	4	○	○
ネジ, 6-32UNC x 38.1	4	○	○
スプリング, OD 6 x 25.4	4	○	○
ナイロンワッシャー	16	○	○
ナイロン段付きワッシャー	4	○	○
スタンドオフ	4	○	○
ナイロンナット	4	○	○
ファン (80mm角 x25.4ファン)	1		○
サーマルグリス YG6260-5	1		○

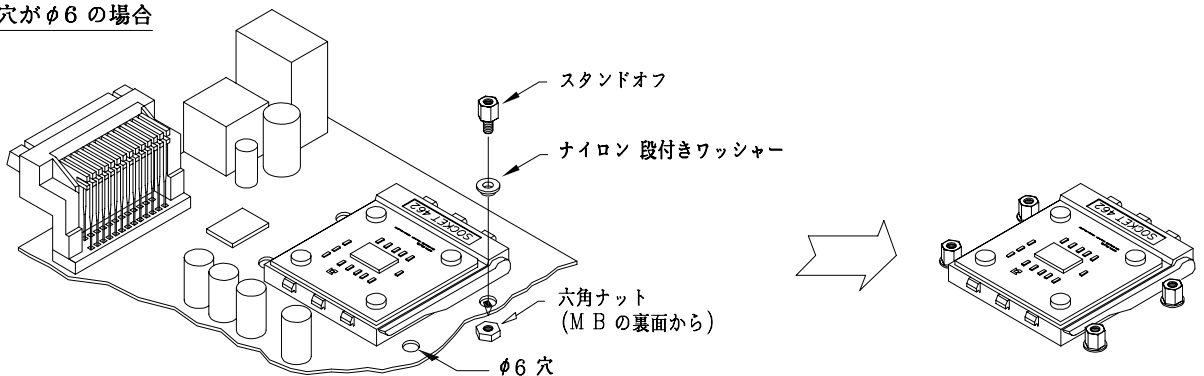
STEP 1 PAL8045を取付け前にMBをケースから取り外します。

STEP 2 始めに使用するワッシャーのタイプを決定します。もし使用するマザーボードの穴がφ6の場合、ナイロン段付きワッシャーを使用します。ナイロン段付きワッシャーの小径部分がMBの穴に適合します。穴が小さなタイプ(φ4)のMBの場合は、平らなナイロンワッシャーを使用します。

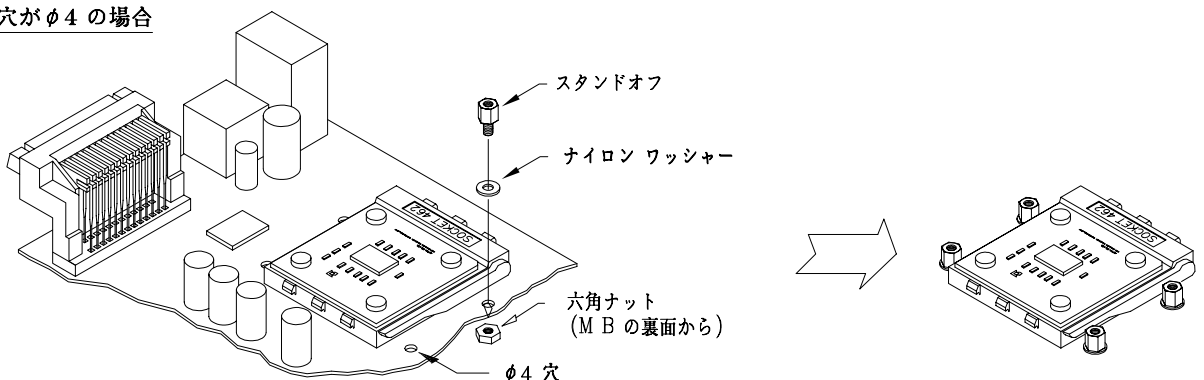
ナイロン段付きワッシャーを穴が小さいタイプのMBには絶対に使用しないで下さい。使用するとヒートシンクが適切に取り付けられません。

スタンドオフのネジ部分をナイロンワッシャーに通しMBの穴にセットします。次にMBの裏面よりナイロンナットで固定します。

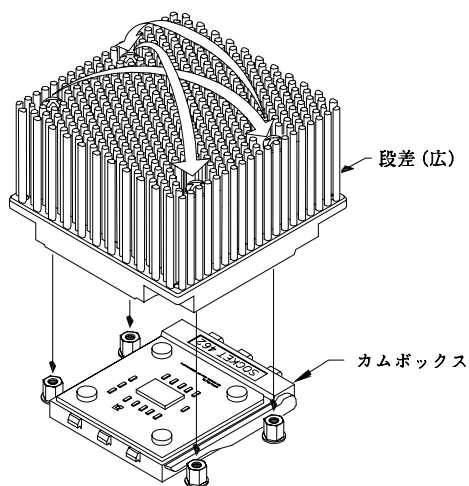
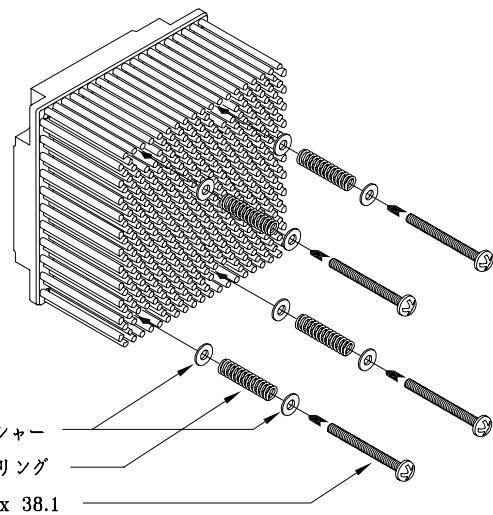
MBの穴がφ6の場合



MBの穴がφ4の場合



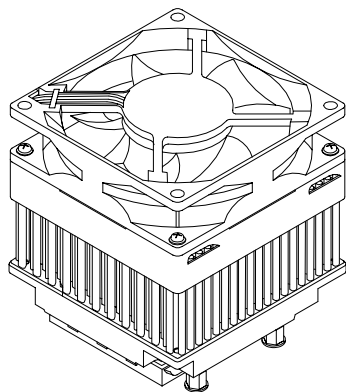
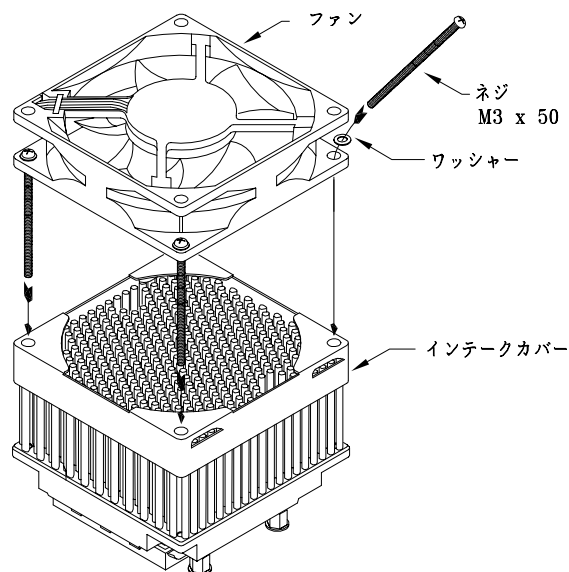
STEP 3 ネジ 6-32UNC にナイロンワッシャー、スプリング、ナイロンワッシャーの順でセットしヒートシンクの4箇所穴にセットします。図の様にヒートシンクを横にするとセットが簡単です。



STEP 4 コア上面にサーマルグリスを塗布して下さい。次にスプリングのネジがスタンドオフ上にくる様ヒートシンクをセットします。この時CPUコアにヒートシンクをぶつけない様注意して下さい。ヒートシンク裏面の広い段差がソケットのカムボックス側になります。ネジは一つのネジだけ一度に締めないで、図の様に対角のネジと交互に(十字を何回か繰り返す様に)締め付けて下さい。ネジがスタンドオフの底に届いたら、ネジ締めは完了です。ネジの締めすぎに注意して下さい。

CPU、ソケット、マザーボード及び取り付け金具の寸法許容差に依り、場合に依っては組付け力が弱くなる可能性があります。これは、ヒートシンクの性能に影響します。もしスプリングの力が弱いと思われる場合には、STEP 3に戻り、各々のネジにナイロンワッシャーを1枚追加して下さい。

STEP 5 インテークカバーの白いシートは加工時の傷防止用のシートですので組付け前に取除いてください。インテークカバーをヒートシンクの上に被せます。(カバー内側のストッパー部分がヒートシンクのピン上部に引掛かり、ヒートシンクとインテークカバーには5mmの隙間が出来ます。)右図の様にネジ M3 x 50 をファンの穴に通します。インテークカバーの穴にネジを通しファンを載せ、ヒートシンクベースのネジ穴で固定します。この時もSTEP 4と同様に交互にネジを締めて下さい。



STEP 6 最後にファンケーブルをマザーボードのファン用コネクタに取付けます。これでPAL8045の取り付けが完了しました。ヒートシンクがCPUと傾くことなく設置されているか(ソケットのカムボックスやレバー及び他のコンポーネント等に接触せず、CPUだけに正しく接触していることを)目視で確認して下さい。MBをケースに組み付けます。ケースや他のコンポーネント等にヒートシンクが干渉していないか最終確認を行って下さい。

information subject to change without notice.